



立山砂防事務所管内で実施している砂防工事の現場見学を通じて砂防事業への理解を深めるため、砂防学会関西支部の支部長と会員の大学生・大学院生の17名が立山砂防事務所管内を訪問しました。

当日は雨天により立山カルデラ内の一部の視察を中止としましたが、重要文化財の白岩砂防堰堤と本宮砂防堰堤、出水時に流下量を調節するシャッター付の妙寿砂防堰堤や立山カルデラ砂防博物館、砂防工事専用軌道の車庫を視察しました。

日時：令和6年10月4日(金) 9:00~16:40
場所：白岩砂防堰堤、本宮砂防堰堤、
妙寿砂防堰堤、砂防工事専用軌道車庫
立山カルデラ砂防博物館、SABO展示室
参加者：砂防学会関西支部
支部長、会員(大学生・大学院生)
計17名

視察概要説明



有峰林道亀谷ゲートにて

妙寿砂防堰堤



国内初のシャッターゲート付堰堤

白岩砂防堰堤



高さ日本一の堰堤を下流より視察



インクライン跡の階段(420段)を登る

立山カルデラ砂防博物館
SABO展示室



立山カルデラの自然と歴史を学ぶ



立山カルデラ内の施設について解説

砂防工事専用軌道車庫



軌道の概要と沿革について説明



機関車(トロッコ)を視察



工事用道路の仮橋より視察



ゲート機械室の前で出水時の映像を視聴

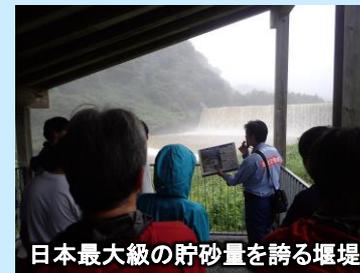


堰堤の上流より視察



“砂防の父”赤木正雄ブース

本宮砂防堰堤



日本最大級の貯砂量を誇る堰堤